

ことばに親しむ環境づくりに関するアンケート結果より

年長児保護者
のみなさまへ

昨年10月に、ことばに親しむ環境づくりに関する保護者アンケートを実施しました。御協力いただきありがとうございました。結果をまとめましたので、お知らせします。

ことばに親しむ環境が増えています！

本や文字にふれる機会が少ない方もあります

○本を読んだり、読み聞かせが好きなこども・・・64%

○読み聞かせをほとんどしない・・・11%

○家庭での読み聞かせ 毎日及び週に数回・・・61%

○ことば遊びをほとんどしない・・・11%

○ことば遊びの頻度 ほぼ毎日 週に数回程度・・・44%

○手紙やカードなどを書いて遊んだり渡したり ほとんどやらない・・・19%

○お子様と一緒に遊ぶ ほぼ毎日・・・59%
週に数回程度・・・25%

○スマホ・タブレットの使用状況 ほぼ毎日・・・43%

【ことばに親しむために、幼児期に重要なこと】 (保護者の自由記述より)

- 園の先生のアドバイスで毎日就寝前に絵本の読み聞かせをしています。
- 絵本の読み聞かせや図書館へ行く等、たくさんの言葉や文字にふれる機会を持つこと。
- ことば遊びをする(しりとり、最初に○のつく文字集めなど)
- 日常生活の中で関わる物や動きをことばにして伝えること。
- 幼児期はインプットが多くなるよう、語りかけることを大切に、少しのアウトプットでも良く耳を傾けること。
- 動画の視聴については賛否あるかと思いますが、親と一緒に見て楽しんだり会話につながったり、使い方次第で良い面もあると思っています。同時に絵本や活字にも触れる機会もどんどん増やしていきたいと思っています。
- 子どもが尋ねてきたときに、すぐ答えを教えるのではなく、どう思うのかを聞き、一緒に考えたり話したりして会話を増やす。



スマホやタブレットを使用する家庭が増えています。メディアを適切に活用するようにしましょう。メディアの利用は、使い始めが大切です。「アラームが鳴ったらおしまいね」などの約束をとおして、守れたらほめるなど、家族みんなでルールをつくるといいですね。

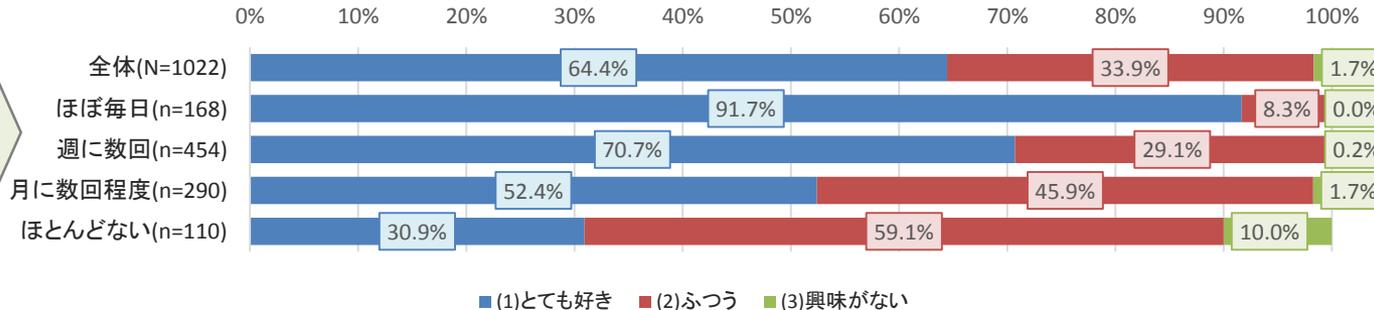
読み聞かせやことば遊び(しりとり・ことばあつめ・かるた等)など楽しい活動をとおして、ことばが豊かになります。子どもたちが自分で文字を読む力を育てることが学力の向上にもつながります。お子さんの発達段階や興味に合わせて、ことばに親しむ環境を整えましょう。

主なアンケート結果と分かったこと・取り組みたいこと

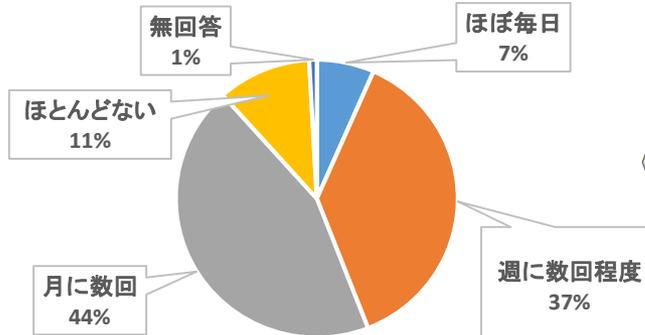
「読み聞かせ」が多いほど、「本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりすることが好きな子ども」の割合が高い傾向があります。

小枝達也先生の「コミュニケーション力を育てることばの発達」に関する講演会でも、親が本を読む姿を子どもが見ることは、子どもが本好きになることにつながっているというお話がありました。

「読み聞かせの頻度」と、「本を読んだり読み聞かせをしてもらったりすることが好き」との関係

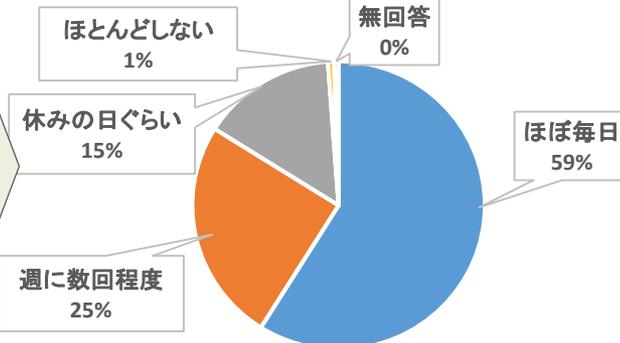


5 ことば遊びの頻度

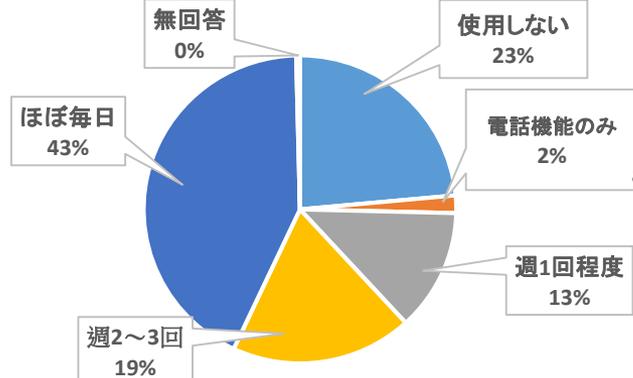


子どもと遊ぶことについては、ほぼ全ての家庭で行っており、子どもとふれ合う機会を大事にしておられるようです。しりとりやかた、クイズやごっこ遊びなどの「ことば遊び」、歌と一緒に歌ったり手紙やカードを書いたり渡したりするなど、ことばにふれたり使ったりする機会をさらに増やしていきましょう。

7 お子様と一緒に遊ぶ頻度



8 お子様はスマホ・タブレットを使う頻度



スマホやタブレットを使う頻度について「使用しない」が年々減少し、「ほぼ毎日」が年々増加しています。また、使用時間も年々増加しています。視力低下や生活リズムの乱れなど健康への影響も懸念されます。子育てにおけるスマホやタブレットなどの上手なつき合い方に関する研修会に参加したり、御家庭で使用するルールを決めたりしましょう。

9 スマホ・タブレットを使っている時間

